

## ライチ便り No. 23

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2014年3月号～  
<http://lychee-club.jp/>

厳しかった冬も過ぎ、あっという間に春爛漫の季節を迎えました。

今年は福岡広州友好都市締結 35 周年の記念の年です。2013 年度最後のライチ便りをお届けし、新年度への弾みにしたいと思っています。

### 福岡に残る日中関係史跡バスツアーを行いました

2 千年の昔から日中交流の接点の役割を果たしてきた福岡。その史跡は市内各地に残っています。3 月 8 日にはうらかな陽気の中、バスツアーでそのいくつかを巡り、福岡の歴史を改めて学びました。

福岡市博物館では、中世以降の博多の成り立ちについて学芸員の方の特別講義をうけ、日本初の中華街は博多にあったことなど多くの史実を再認識しました。

続いて生の松原の元寇防塁跡、舞鶴公園にある鴻臚館跡と福岡城跡を見学し、最後は博多区にある東長寺などいくつかのお寺と謝国明の墓をまわりました。いずれもボランティアガイドさんの説明を聴きながらの見学でしたので、非常に分かりやすく、特にタブレットを駆使しての福岡城跡歩きは、臨場感あふれるものでした。

この史跡ツアーは、わがライチ倶楽部と九州中国研究会の共催で行われ、8 人の中国人留学生を含む 23 人が参加しました。



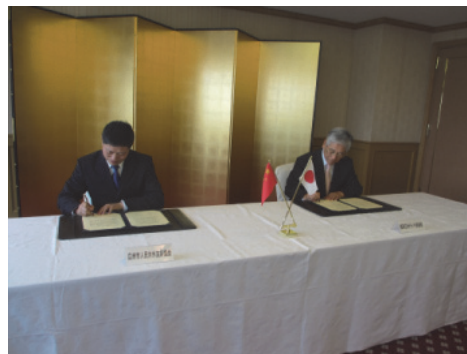
元寇防塁跡の前で説明を受ける



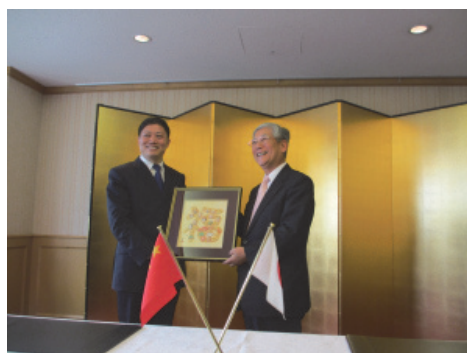
タブレットを見ながら福岡城跡を散策

## 広州市人民対外友好協会と交流促進の覚書を交わしました

劉保春外事弁公室主任を団長とする“広州市友好訪問団”一行6人が3月24、25日に福岡市を訪問されました。劉保春主任は、広州市の民間交流を担当する“広州市人民対外友好協会”の副会長でもあります。



「今後の民間交流をさらに強めるため、今回福岡を訪問する機会に、広州市人民対外友好協会と福岡広州ライチ倶楽部との間で交流促進の覚書を結びたい」という先方からの提案に応じて、3月25日に調印式を行いました。



折しも今年には福岡広州友好都市35周年の記念年です。これまで培われてきた両市の絆を基礎として、広州市側でも様々な民間交流をもっと活発化させたいと考えられているようで、私たちライチ倶楽部としても大いに賛同しています。



国同士の関係が冷え込んでいる昨今、民間交流によって友情を伝えあい、相互理解を深め合うことがとりわけ大切に思われます。

## 4月23日に総会を行います

例年通り18:30から福岡国際ホール（志賀の間）で今年の総会を行い、終了後には懇親会を行います。新しい年度の活動の推進力をいただきたく、皆さまのご参加をお願いいたします。

---

\* 当倶楽部のHPとブログを開設しました。標記のアドレスに是非アクセスして下さい。

\* 未納の方は、今年度会費の振込をお願いします。個人：5000円 団体：一口10000円です。

\* 会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。 連絡先：[y-chiba.naga@hb.tp1.jp](mailto:y-chiba.naga@hb.tp1.jp) または [info@lychee-club.jp](mailto:info@lychee-club.jp)